

第9週の発生動向 (2005/2/28~2005/3/6)

- インフルエンザについては、青森県すべての保健所管内において**警報**が出されました。
- 感染性胃腸炎については、弘前保健所管内の48人、青森保健所管内の42人、むつ保健所管内の32人と多い報告数が続いているため引き続き注意が必要です。

第9週五類感染症定点把握

保健所名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	定点数									
	疾患番号・疾患名	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数		定点	前週からの増減	青森	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	合計	
(72) インフルエンザ	573	44.08	651	40.69	972	69.43	301	43.00	554	61.56	326	54.33	3377	51.95	940										
(60) 咽頭結膜熱											2	0.50	2	0.05	-1										
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	1.88	37	3.36	12	1.33	1	0.20	11	1.83			76	1.77	8										
(62) 感染性胃腸炎	42	5.25	48	4.36	9	1.00	6	1.20	3	0.50	32	8.00	140	3.26	-28										
(63) 水痘	14	1.75	9	0.82	11	1.22	18	3.60	7	1.17	6	1.50	65	1.51	4										
(64) 手足口病	5	0.63			3	0.33			7	1.17	4	1.00	19	0.44	6										
(65) 伝染性紅斑	1	0.13	2	0.18	2	0.22							5	0.12	-4										
(66) 突発性発しん	3	0.38	7	0.64	7	0.78			3	0.50			20	0.47	-1										
(67) 百日咳																									
(68) 風しん			1	0.09	1	0.11							2	0.05	±0										
(69) ヘルパンギーナ																									
(70) 麻しん(成人を除く)																									
(71) 流行性耳下腺炎	5	0.63	1	0.09	2	0.22	2	0.40	1	0.17			11	0.26	-12										
(73) 急性出血性結膜炎																									
(74) 流行性角結膜炎	1	0.50					1	1.00	1	0.50			3	0.27	1										

■ は警報です。 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

- (47) 急性脳炎(五類全数把握疾患) 八戸保健所管内: 1人 (17年計 1人)
- (82) マイコプラズマ肺炎(五類基幹定点把握疾患) 八戸保健所管内: 4人 (17年計 23人)

感染症の窓



蚊が媒介する感染症



**最近の話題**: 2005年3月、ウエスト(西)ナイル熱の患者が、昨年シベリア西部やその周辺で3名確認されたという報道(ワシントン4日共同)がありました。ウエストナイル熱の感染は、鳥と蚊の間で広がり、原因ウイルスを保有した蚊に刺されたヒトが感染します。そのため、国立感染症研究所は、渡り鳥の採血調査などを検討しています。

蚊が媒介する四類感染症には次のような感染症があります。

	原因病原体	流行地域
ウエストナイル熱	West nile virus	アフリカ、ヨーロッパ、アメリカなど
日本脳炎	Japanese encephalitis virus	日本、韓国、インドネシアなど
黄熱	Yellow fever virus	熱帯アフリカ、中南米
マラリア	マラリア原虫	アフリカ、インド、中南米など
デング熱	Dengue virus	熱帯・亜熱帯地域

・感染症法(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)において、四類感染症はヒトからヒトへの感染は少なく、動物、飲食物等の物件を介して感染するため、動物や物件の消毒、廃棄などの措置が必要となっています。